

今より一步、
心地よい暮らしを考える。

7町エリア限定配布

ニュートラル
Neutral
News

No.08

補助金でお得に省エネエアコンへ、 電気屋さんが教えるかしこい替え時



工事費の3分の2が補助される、 破格の補助金

本紙が配布されている7町エリア(亀井・籠田・連尺・東康生・南康生・唐沢・伝馬一丁目)にお住まいの方と事業者を対象に、省エネエアコンの本体購入費と工事費の合計額の3分の2、最大20万円の補助金が出る制度があります。「破格だなと思いました。これほどの補助率はなかなかないですよ」と三浦さん。一般的な補助金の上限が5万円程度であることを考えると、いかに手厚い制度かがわかります。

この制度を利用するには3つの条件があります。①お住まい及び設置場所が7町エリアであること、②従来機器と比べて消費電力が11%以上削減されるエアコンに買い換えること、③おいでんエネルギーの

となりのニュートラルは、近所のあの人が取り組んでいる、暮らしを豊かに心地よくし、環境にもやさしい工夫をお伝えします。今回登場いただいたのは、籠田町で電器事業を営む「電波堂」の三浦淳司さん。脱炭素先行地域の補助金を活用した省エネエアコンへの買い替えについて、お話を伺いました。

となりの

ニュートラル

「CO2フリー電気」と契約することです。②の条件については、「10年以上前に購入したエアコンからの買い替えであれば、規定を満たすことがほとんどです」と教えていただきました。

グレードを上げてもお得になる仕組み

補助金を利用して買い換えると、「省エネ性能の高いエアコンは月々の電気代が安くなるので、長い目で見れば十分に元が取れます」。もともと検討していたエアコン機種よりグレードを上げたものを購入しても、結果的にお得になることがあるそうです。

機種選びに迷ったらずは電気屋に相談するのがおすすめです。「こういう機能が欲しい」と言っていたら、それに合ったメーカーや機種を絞り込んで提案します。設置場所が木造か鉄骨かによって、同じ部屋の広さでも必要なエアコンの能力が変わるため、構造や部屋の広さも合わせて相談できると安心です。

申請は、工事の前に

留意しておきたいのは、補助金申請のタイミング。エアコン設置工事「前」に申請をおこない、承認が下りてから工事を始める



める必要があります。設置後の申請では補助金は下りません。承認までの期間を見越して、「なるべく早い時期に申し込まれるのが一番スムーズです」と話します。申請時に用意するものは、「納税証明書」「振込先口座情報」の2点。「その他の申請書類については必要事項や書き方等、こちらでご説明させていただきます」。手続きの煩雑さを心配する必要はありません。

補助金は2028年度まで、 早めの活用を

この補助金制度は2028年度まで続く予定ですが、予算は年度ごとに上限があるため早めの活用が賢明です。また、エアコンの寿命は10年が目安。「10年を超えると部品が不足し修理も難しくなるので、その頃が買い替え時です」とアドバイスをいただきました。

なお、この補助金は個人だけでなく事業者も対象で、事業者の場合は上限が最大200万円と大きくなります。店舗や事務所のエアコンが古くなっている方は、ぜひ相談してみたいかがでしょうか。

補助金をうまく活用して省エネエアコンに替えることは、家計にやさしいだけでなく地球環境への貢献にもつながります。電波堂のような地元の電気屋へ気軽に相談できる環境があることも、この取り組みの心強いところですね。



「電波堂」三浦淳司さん

岡崎市ゼロカーボンシティ推進課からのお知らせ

電気自動車に乗ってみよう！

Okazaki Public EV Share x 次世代自動車購入費補助金

こんにちは！岡崎市ゼロカーボンシティ推進課です。

みなさん給油のたびに金額を見てため息をついていませんか？ガソリン代は世界情勢の影響を受けやすく、それによる価格変動で家計の負担が大きく変わってしまうのが現状です。そのような中、「電気自動車（以下EV）」ってどうなんだろう？「と考える方も多いのではないのでしょうか。そんなみなさんにぜひ知っていただきたいお知らせがあります。

最大45万円！ EV購入補助制度

岡崎市ではBEV（電気自動車）やPHEV（プラグインハイブリッド車）の購入に対し、1台あたり35万円を補助する「次世代自動車購入費補助金」を実施しています。さらに、岡崎市が認定する地産再生可能エネルギー（岡崎産再生電気との契約で、10万円が加算され、最大45万円の補助が受けられます。なお予算の枠が無くなり次第、受付終了となります。ご検討の方は予算状況をHPでご確認の上、お早めにお申し込みください。詳しくはこちらのQRより。



まずは体験！ カーシェアリング サービス 「Okazaki Public EV Share」

「補助金があるといっても高い買い物だし…」「乗り心地や使い勝手が分からなくて不安」という声もあるのではないのでしょうか。そんな方にぴったりのサービスをご紹介します！令和8年4月より、岡崎市が公用車として導入したEV2台を市民の皆さまにも開放するカーシェアリングサービス「Okazaki Public EV Share」がスタートしました。車体には岡崎市の人気キャラクター・オカザえものの可愛いラッピングデザインが施されています。まずはEVを気軽に体験してみたいかがでしょうか。

img

料金は15分20円、平日18時～翌朝7時と土日祝は終日利用可能です。車種は三菱自動車工業株式会社のe-KクロスEV、発着場所は市役所東立体駐車場です。スマートフォンアプリ「[nobi]」で、予約から返却までがすべて完了します。詳しくご利用方法はこちらのQRより。



乗るだけで 地球にやさしく、 家計にもやさしく

EVはガソリン代が不要で、走行中のCO2排出もゼロ。補助金を活用すれば導入コストも大幅に抑えられ、環境にも家計にもやさしい選択です。公用車のカーシェアは今後車両台数等の拡大も検討しており、より多くの方に活用していただく機会を増やし、脱炭素社会の実現を目指していきます。まずはカーシェアでお試しを。EVの魅力を感じてから、ご自身の購入をご検討されてはいかがでしょうか。

まちなか ニューtral

使い続けるための仕組みをつくる、ビーズクッションの回収・再生循環

ここでは、まちなかにあるちよつと環境を考えた身近な取り組みをご紹介します。今回ご紹介するのは、日名中町に本社を構える「有限会社タキコウ縫製」。創業は1978年、市内の職人が手縫いでビーズクッションを製造する縫製メーカーです。毎年約3万人に商品を届けています。同社では2021年から、大門口にある工場で使用済みビーズクッションの無料回収をおこなっています。新しいクッションを注文した際に、配送業者がそのまま古いクッションを回収する仕組みで、累計約二トンを回収してきました。回収したビーズは植木鉢やサーフボードに再加工して再販していましたが、現在は独自に確立した「再発泡」技術により、つぶれたビーズを再び膨らませ、クッションの中材として再利用しています。

さらに2024年12月からは、月に1度のイベント「復活祭」をスタート。自宅でのビーズ補充に苦手意識を持つ方が多いことに気づいた担当者が、どのメーカーのクッションでも持ち込めば補充できる仕組みで、県外からも参加者が訪れています。消耗品になってしまいがちな商品にふたたび命を吹き込み、ものを長く使い続ける文化を支えています。



読者アンケートにご協力ください

より良い発行物づくりのため、読者アンケートを実施します。今月号で関心を持った記事や今後掲載してほしい情報など、皆さまからいただいたご意見を今後に活かしてまいりますので、ぜひご協力をお願いいたします。アンケートは5分程度で完了します。QRコードからお気軽にご回答ください。



先着（抽選）10名様に限定グッズをプレゼント！

ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に、岡崎産材を使用した木製の輪挿しをプレゼントします。お部屋にさりげなく飾れる、温かみのある一品です。ぜひこの機会にご応募ください。皆さまのご意見・ご回答を心よりお待ちしております。



ニュートラル
ニュース
とは

地域情報紙「ニュートラルニュース」は、QURUWA 7町エリア（亀井・籠田・連尺・東康生・南康生・唐沢・伝馬一丁目）で暮らす人や働く人たちの「今より一步、心地よい暮らし」についてお届けします。そして、実はそれが環境にやさしい取り組みで、その輪を地域に少しずつ広げることを目指します。

バックナンバーは
こちら！



発行元 ニュートラルニュース実行委員会
岡崎市ゼロカーボンシティ推進課
発行月 2026年6月
印刷 合資会社永田印刷所
企画・編集 Micro Hotel ANGLE（合同会社シテン）
ライティング Micro Hotel ANGLE（合同会社シテン）
デザイン 岡田侑大（ケルン）